

伝統産業の現場で活躍している 皆さん

大学院で学んでみませんか！？



京都産業大学大学院京都文化学研究科のご案内

京都文化学研究科では、京都の持つ精神性・価値観を追求し、京都文化を社会に実践的に発信していくことができる人材、京都の未来をリードする人材を養成します。

伝統産業・美術工芸などの現場でのこれまでの経験・実績を活かして、京都産業大学大学院京都文化学研究科（通信教育課程）で研究活動を進めることで専門性をより深め、仕事に活かしてください。

入学までの主な流れ

HPや学生募集要項で、本研究科の研究内容や指導教授陣を情報収集



9月頃～12月中旬頃：指導を希望する教員に研究テーマ等の相談



12月中旬頃までに：研究計画案・志望理由書などの作成



12月下旬：（個別の入学資格審査が必要な場合）事前資格審査に出願



12月下旬～1月上旬：出願期間



1月中旬：1次選考（書類審査）



2月中旬：2次選考（本学にて面接・口述試験）



2月下旬：合格発表



入学決定後：研究指導教員と履修計画・研究計画の相談



4月：研究開始。

入学時のオリエンテーションで、研究倫理・文献検索等のガイダンス

興味を持たれたら、いつでもお問合せください

Q & A

大学院生活に関する疑問に



お答えします

Q : 大学を卒業していませんが、出願はできるのでしょうか。

また、大学院のレベルについていけるのでしょうか。

A : 本大学院における個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた22歳以上の方であれば出願可能です。
また、入学後は、教員全員によるオムニバス方式による科目を受講することにより、基礎的な知識と研究方法を身に付けることができます。

Q : 仕事に就いてからかなりの年数が経っており、年齢的に不安です。

京都文化学研究科には、どのような人が入学されているのでしょうか？

A : 通信教育課程のため、入学者の中心は仕事を持つ社会人です。とりわけ、ある程度の経験を積まれた方が多く、年齢層は一般的な大学院と比べると高いと言えるでしょう。年齢に関係なく、安心して学びを進めてください。

Q : 伝統産業に関わること以外に、どのようなことが学べるのでしょうか？

A : 学術的で高度な知見を身に付けられるよう、“京都文化”を深く掘り下げるカリキュラムを準備しています。

京都文化・日本文化の基礎的な知識を広く身に付けるべく、歴史・文学・文化財に関する内容も基礎科目として履修することで、多角的な視点で研究を進めます。

Q : 大学院で勉強したいのですが、仕事があり通学することができません。

A : 本研究科は、時間の制約を受けずに修学できる通信教育課程です。仕事を持つ社会人も、安心して学ぶことができます。

Q : 働きながら2年間で研究を進め、修士論文を書けるか不安です。

A : 標準修業年限は2年ですが、仕事を持つ社会人が無理なく取り組めるよう、3年または4年で修了をめざす長期履修制度を設けています。
仕事と修学のバランスを考え、計画的に履修を進めることができます。

8月頃から12月頃には、入試相談会等を開催する予定です。

決定次第、HPで案内します。

みなさんのご参加をお待ちしています。

■京都文化学研究科に関する問合せ先

http://www.kyoto-su.ac.jp/faculty/g_fcsi/index.html

京都産業大学教学センター 京都文化学研究科担当
(075) 705-1941

■大学院学生募集要項の請求先

京都産業大学教学センター 大学院担当
(075) 705-1913

京都産業大学

〒603-8555

京都市北区上賀茂本山

<http://www.kyoto-su.ac.jp/>



むすんで、うみだす。

KYOTO SANGYO
UNIVERSITY